

四日市港湾事務所におけるSDGsの取り組みについて



私ども四日市港湾事務所では、以下の取り組みをはじめとする各種施策を通じて、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、四日市港・津松阪港の港湾・海岸整備と港湾振興活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。



地域産業の発展と災害時の経済活動を守る！

四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区において、コンテナ貨物量の増加・船舶の大型化に対応するため、国際物流ターミナルを整備しています。また、南海トラフ地震等の大規模地震災害に備え、安定的な物流機能を確保するため、耐震強化岸壁としての役割も担っています。岸壁整備に必要な地盤改良に使用する砂は、河川事業と連携し、河道掘削から発生する砂を活用することで資源の効率的な利用にも取り組んでいます。



ターミナル完成予想写真



河川事業と連携し
地盤改良材を調達

地盤改良で再利用される砂



高潮や津波から生命と財産を守る！

津松阪港海岸において、自然災害から堤防背後の生命と財産を守るため、伊勢湾台風を契機に整備された既存海岸堤防の老朽化対策・地震対策を実施しています。現在は、津地区の栗真工区、阿漕浦・御殿場工区において、工事を進めています。



堤防整備前



堤防整備後



阿漕浦・御殿場工区整備後



地球に優しいみなとを目指して！

四日市港におけるカーボンニュートラルポートの実現に向け、官民一体となった協議会を設立し、検討を進めています。

また、霞ヶ浦北ふ頭地区で整備中のコンテナターミナル(W81)において、荷役機械のハイブリッド化や遠隔操作、IoTを活用したゲート処理の迅速化等を取り入れたAIコンテナターミナルの実現に向けて、地元港湾利用者と連携して取り組みを進めています。

【目標】ハイブリッド化された荷役機械等の導入による温室効果ガスの排出削減



AIコンテナターミナルの検討



荷役機械のハイブリッド化